

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立夕日寺小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒920-0822

石川県金沢市東長江町に17番地

E-mail yuuhidera-e@kanazawa-city.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 153名 女子 149名 合計 302名

児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

1年生(生活科) なかよし いっぱい だいさくせん



一人一鉢でアサガオを育て、畑ではさつまいも、学年花壇ではマリーゴールドやおしろい花、ふうせんかずら、綿といった植物を育てた。植物の成長の様子や不思議を継続的に観察し、リース作り、種のプローチ作りを楽しんだ。校庭の桜の葉を使ってさくらもちを作った。また、さつまいもは、調理して収穫を喜び合った。水やりや草むしり等、世話をする活動を通して、自然の美しさや不思議さを感じることができた。

年長さんを迎える会では、「学校生活を楽しみに入学してほしい」という思いのもと、

1年生としての成長を見せようと準備を進めた。年長児のお世話をする中で、小さい子を思いやる心を持つことができた。

2年生(生活科) ぐんぐん育てみんなの野菜



一人一鉢ではミニトマト、畑では加賀野菜の五郎島金時、えだまめ、ピーマン等の野菜を栽培し、学年花壇ではマリーゴールド、インパチェンス、サルビア等たくさんの花を育て、観察した。五郎島金時を収穫した後は、クッキングに向けて、どんなものを作りたいかグループに分かれて意見を出し合い、それぞれの計画の良さや問題点を話し合った。決定した『さつまいもパイ』と『スイートポテト』をみんなで協力して作り、実りを味わうことを楽しむことができた。また、校内のビオトープで春見つけをしたときに見つけたよもぎでお団子を作

れることを知り、よもぎ団子づくりにも挑戦をし春の香りと、自然からの恵みについて学ぶことができた。そこから、今度は自分たちの町のよいところ見つけをし、公園探検をしたり、校区にある夕日寺健民自然園で、ざりがに釣りをし観察をしたりした。身近にたくさんの自然があり、生き物が息づいていることを知り、季節の自然に触れ合う機会を多く持つことで校区のよさに親しむことができた。

3年生(総合的な学習の時間)

自然とのつながり～森と生き物、人とのつながり～



いしかわ自然体験支援隊の方をお呼びし、校区内の森で、ひみつ基地やブランコなどの遊び道具を作る活動を行った。森に生えている草や木を素材として使う活動を通して、森を楽しみ、自然への興味を高めることができた。さらに、身近な森について知りたいという意欲が高まり、森の秘密や不思議を自分たちで調べることができた。調べて分かったことや学んだことはグループごとにまとめ、いしかわ自然体験支援隊の方をお招きして学習発表会という形で発表した。これらの体験を

通して、森は人と深く関わり合っていることを実感し、森を大切にしていかなければならないという思いを高めることができた。

4年生(総合的な学習の時間)

未来の地球を考えよう～もったいない(3R活動)～



社会科の学習「ごみのしよりと利用」で「ごみの減量や資源の再利用」について学習したことを生かし、地球のために「自分たちができることは何か」を考えた。そして各家庭の協力を得て、家庭から出るごみについてその種類を調査したり、各自が決めたテーマについて調べたりした。調べたことをもとに、未来の地球について多くの人に考えてもらえるよう、グループで壁新聞にまとめて掲示した。全校児童や授業参観で保護者に見てもらうことで、ごみを減らすことの大切さや必要性を発信することが出来た。これらの活動を通

して、一人一人がごみについて意識することや、情報を発信することの大切さを感じ、ごみを減らすことへの意識を持つことが出来た。

5年生(総合的な学習の時間)

自然とつながろう～野菜を育てよう・ビオトープを受け継ごう「里山と生き物と私」～



自分たちが住む、金沢市が誇るたくさんの加賀野菜。その特徴や育て方について調べ学習を行い、金時草や五郎島金時、ヘタ紫ナス等、実際に苗植えから収穫までを行った。この活動を通して、地産地消や日本の食糧生産を考えることができた。また、米作りも行い、田作り、田植え、草取り、稲刈りなど米作りの大変さや農家の方々の苦労や工夫を学ぶことができた。収穫したお米で地域の方と餅つきをし、全校に振舞うことで、大変さだけではなく、米作りの喜びも共有することができた。

6年生(総合的な学習の時間)

「里山再生」～ビオトープ活動の発信と交流 「自分の生き方」について考える



ビオトープは、毎年6年生が中心となって、地域や保護者の方々の協力を頂きながら整備してきている。今年度もビオトープの生き物について継続観察することで、生き物が住みやすい里山について考え、自分で見つけた課題を解決するために調べ学習を行ったり、「みんなが学んだり楽しんだり出来る」ビオトープにする工夫をしたりした。そして、自然の大切さや恵み、保全の難しさを感じるとともに、地域や保護者の方々の支えや協力を感じていた。

また、元プロサッカー選手の方から、自分の目標や夢を達成するにはどのようなことを心がけて学習・生活していくべきなのか、直接お話を聞き、自分の生き方について考えることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）